

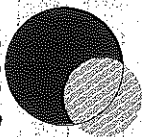
鈴木組

# 三崎漁港土木 工事を見学

## 三崎小児童に体験学習

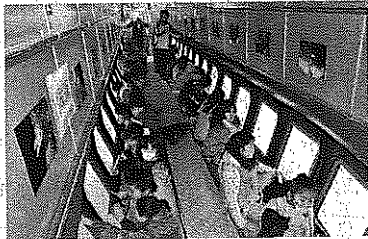
鈴木組（真鶴町）は21日、社会貢献活動の一環

# 企業



で、三崎漁港における土木工事の見学会などを三崎小学校（三浦市三崎）の3年生児童37名が参加して開いた。

力石三喜夫技術顧問は、「普段見る機会の少ない港の工事などに触れてほしい」とあいさつ。



船の中から海底を眺める児童

当日は、同校内で三崎の漁業に関する講習を行い、漁港から同社脇山直也取締役らと共に「にじいろさかな号」に乗船。護岸工事を見学し、サザエの稚貝2000個を実際に自分たちの手で放流した。

見学会最後に児童たちは、工事における作業人数や工期、放流後のサザエの生育状況などについて積極的に質問を行っていた。

同活動は、みづら漁業協同組合・神奈川県栽培漁業協会・三浦海業公社の協力などを得て実施した。